進路だより スキルアップ 第7号

青森県立八戸高等支援学校　進路指導部　　令和８年１０月２７日発行

産業現場等における実習を計画するにあたって

産業現場等における実習について

各学年において計画的に行っているところですが、今年度より、普通科１学年後期実習においては、期間を２～５日としました。今年度は、就労アセスメント（BWAP2）の評価を参考に普通科１学年の数名は、一般事業所において５日間実習が計画されています。

本校は、精神的な配慮や支援を必要とする生徒も多数在籍しています。登校や授業参加の状況、必要な支援を確認しつつ、実習期間や時間、教員帯同を個別に検討しています。一回の実習がよい経験となるように計画ができればと考えています。

生活介護や入所支援を希望する方の実習については、実習受け入れ先の状況で実習設置期間より少ない日数での実施が多くなっています。より良い経験ができるよう、実習期間を確保するため、学校の実習設定期間にこだわらない設定をしていきます。

進路希望（現場実習経験）と卒業後の進路

例１　【就労先の見直し型】１年：一般 ➔ ２年：Ａ型 ➔ ３年：Ｂ型 ➔ 卒業後：Ｂ型
例２　【実習経ての変更型】１年：一般 ➔ ２年：一般 ➔ ３年：Ｂ型 ➔ 卒業後：Ｂ型
例３　【福祉系への適応型】１年：Ｂ型 ➔ ２年：Ｂ型 ➔ ３年：生活介護 ➔ 卒業後：生活介護
例４　【ステップアップ型】１年：Ｂ型 ➔ ２年：Ａ型 ➔ ３年：一般 ➔ 卒業後：就労移行支援

上記は例で、生徒の学びのステップは、それぞれ違います。また、仕事（活動）内容によっても様々です。卒業後すぐの進路だけでなく、そのあとの目指す生活のため、進路指導を進めていければと考えています。本人の意思を最重視しつつ、保護者の皆様と対話しながら、本校での学びをどのようにしていけばいいのか検討していければと思っています。

保護者の皆様におかれましては、本校の進路指導について御理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【後期の産業現場等における実習：産業科３学年】実習生の感想

一般事業所

私は前期に引き続き、水産加工の作業をしました。前期は、正確性を重視するあまり、作業スピードが遅くなってしまったことが自分でも気になっていました。後期は、丁寧さを維持しつつスピードを上げることを意識して作業に取り組むことができました。私は就職に向けてまだ足りないところがあります。それは相談する力です。分からないことがあったり判断に困ったりしたときに、相談しなかったり自己判断したりすることがあるので、残りの学校生活でそれを改善していけるようにしたいです。



就労継続支援Ｂ型

私は前期と同じ事業所で実習をしました。今回は食品加工を主に担当させていただきました。主にプレーンのカットをさせていただきました。気をつけた事は手を切らない事と丁寧に作業をすることです。「もっとスピードを出せれば良いね」とアドバイスをいただき、自分でもスピードが遅いと思っていたので残りの学校生活でスピードを意識して作業をできるように心がけて生活していきます。



【後期の産業現場等における実習：普通科３学年】実習生の感想、実習先から

後期は、就労継続支援Ａ型での実習がなかったので、Ｂ型を２カ所紹介します。

《一般事業所》

＜実習した生徒の感想＞

私は、運送会社の社内の清掃作業を行いました。清掃場所は、トイレ・給湯室・倉庫・仮眠室などでした。一番重要な点は、長距離運転手の方々が疲れを癒やすための仮眠室を清潔に保つことでした。清掃の他、シーツの洗濯も重要でした。様々な作業を覚えるまでは大変でしたが、慣れてきてからは、素早く丁寧に行うよう心がけました。これからも継続してがんばっていきたいです。



＜実習先から＞

初実習でしたが、作業効率も良く意欲的に取り組んでくれました。依頼をしていない場所の汚れにも気付いてきれいにできた点はとても素晴らしいと思いました。今後も雇用に向けて実のある実習にしたいと考えています。

《就労継続支援Ｂ型》

＜実習した生徒の感想＞

今回の場所での実習は２回目で、新ボトル組みや巻きバンド作り、釣りパーツの組み立て、薪の運搬、草取り、ニンニクの皮むきなどいろいろな実習をしました。内職の釣りパーツの組み立て作業では、小さな穴に糸を通すことが大変でした。外の作業では、利用者の皆さんと協力して丸太を転がしたり、薪を運んだりすることができて良かったです。実習を終えて、改めて自分に合っている場所だと思ったので、今回の実習場所で働きたいと思いました。



＜実習先から＞

慣れない環境での実習や外作業で体力を使う場面が多く、週の後半には疲れが見られましたが、それでも最後までやり遂げようとする姿勢に好感がもてました。これからの成長がますます楽しみです。

《就労継続支援Ｂ型》

＜実習した生徒の感想＞

前期と同じ事業所で実習をしました。作業や一日の流れにも慣れてきて、前期で経験しなかった作業にも挑戦しました。準備や片づけを率先してやったことで、担当の方に褒めてもらえました。うれしかったです。



＜実習先から＞

丁寧な作業をしてくれました。自ら工夫して取り組む姿勢がみられていました。

ぜひ、お待ちしています。

《生活介護》

＜実習した生徒の様子＞

実習では、場所、人、スケジュール、活動内容に慣れることをテーマにしました。緊張して不安そうな表情をみせることもありましたが、少しずつスムーズに行動できるようになってきました。

笑顔も増え、施設の方や利用者の方と交流もできたそうです。

＜実習先から＞

時折、気持ちが不安定になることもありましたが、時間をかけたり、やり方を工夫したりすることで落ち着いて取り組むことができました。お互いに相手を知るよい機会になったと思います。